

事業番号	02 07 03	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	行政情報化推進事業			担当課	部局	企画振興部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	情報政策課	
	施策の総合的展開	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実 5 電子自治体の推進			E-mail	ioho@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H24 ~		

1 事業の概要

目指す姿	県の情報化に対する環境を整備し、情報システムの適正化や事務の電算化が円滑に推進できる体制を目指す。					
現状(予算編成時)	県の情報化を推進するためには、情報に関する高度な専門的知識経験を有する専門家が求められている。災害などの発生に対して、情報システムが安全に運用できるよう対策を行う必要がある。県が有する情報システムが有効に機能し効率的に運用されているか評価及び検証を行う必要がある。H25年10月1日現在 庁内プライベートクラウドへの統合システム数:12件					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(内部管理)		【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施: 実施は困難					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	情報システムに関する高度な専門的知識経験を有するシステム監査指導員を引き続き設置し、情報システムの適正化などの推進を図る。庁内プライベートクラウドの運用管理により、各課執務室で稼働しているサーバを統合し、安全かつ効率的な運用を図る。長野県行政・財政改革方針の行政経営システム改革として携帯端末の活用による業務の改善・効率化を図る。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績			
			H26(当初)	H26(決算)	H27(当初)	
行政情報化推進事業	直接	・システム監査指導員の設置 ・庁内プライベートクラウド(庁内サーバの統合)の構築・運営 ・携帯型端末(タブレット端末)の導入		14,102	13,338	17,156
		合計	14,102	13,338	17,156	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	5,132	12,419	14,102	17,156
	補正予算				
	合計(A)	5,132	12,419	14,102	17,156
	一般財源	5,132	12,390	14,073	17,127
	県債				
	国庫支出金				
	その他(諸収入)	0	29	29	29
	決算額(B)	6,556	12,393	13,338	
概算人件費	職員数(人)	1.50	0.50	0.50	0.50
	概算人件費(C)	12,387	4,129	4,129	4,129
概算事業費(B(A)+C)		18,943	16,522	17,467	21,285

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
庁内プライベートクラウドへの統合システム数	9件 計14件	5件 計20件	8件 計22件	達成	5件 計27件

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 当初計画に無かった滞納整理システム(サーバ3台)、パソコン管理システム(サーバ8台)等も統合し、H26年度末現在、システム数:22件、サーバ数:49台となっている。また、利用開始が容易にできることから、短期間の臨時利用にも活用されている(4システム、サーバ6台)。 H27目標については、H26成果(8件)を反映し、統合システム数の累計を27件に変更した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>現在運用中の第一次統合基盤(第一次プライベートクラウド)は平成31年3月までの運用とする。残り運用期間とメモリ使用率がひっ迫している現状から、新規搭載はH27年度で終了する。</p> <p>平成29年7月運用開始予定の新税務システム及び第一次プライベートクラウドのリース満了後の受け皿として、平成28年10月より第二次統合基盤(第二次プライベートクラウド)の運用を開始すべく準備を進める。</p>